

# 令和5年度「健康長寿に係るイチオシ事業」(概要版)

市町村名

さいたま市

## 1 事業名

さいたま市健康マイレージ事業

## 2 事業概要

本市では、楽しみながらウォーキングする機会を増やすことで、運動習慣を身に付け、ライフステージに応じて自ら継続的に健康づくりに取り組むことができる意識の醸成を目指し、さいたま市健康マイレージ事業を実施している。通信機能付き活動量計又はスマートフォンアプリを利用して計測した歩数や、各種健(検)診の受診に応じてポイントが付与され、ポイントに応じて景品の抽選応募や各種ポイントに交換ができる。

景品ラインナップについて昨年度に引き続き、さいたま市らしさの創出や市内経済への還元を目的として、さいたま推奨土産品を景品に取り入れている。

今年度、スマートフォンで参加される方が増加していることから、今までより楽しみながら歩く習慣を身に付けていただく取組として、スマートフォンのアプリを活用する形でシステムのリニューアルを行った。

## 3 事業内容

### ○さいたま市健康マイレージ事業

現行マイレージ予算 (137,821,548) 円

新マイレージ構築業務予算 (19,831,000) 円

### ●参加者の募集 (4月～)

チラシ・ポスターを作成し、関係各所に配架してもらうことで参加者募集を行った。また、市報6月号に記事を掲載し周知を行った。

### ●体組成測定会 (7月～)

体組成計で体重・BMI・筋肉量・筋肉のバランス等を計測することができる測定会を年4回実施した。

### ●システムのリニューアル (4月～)

令和5年12月4日から新システムのさいたま市健康マイレージをスタートした。参加者の増加を図るため、市報12月号の特集ページにて新マイレージの記事の掲載、各区で参加登録説明会の実施、オンライン広告の実施などといった広報活動を行った。

## 4 事業効果

### ●健康マイレージ新規参加者数

さいたま市総合振興計画実施計画における評価指標である7,000人の目標に対し、令和5年3月31日時点で3,319人と目標に達しなかった。

### ●参加者のうち500ポイント以上獲得した者の割合

さいたま市総合振興計画実施計画における評価指標である24.7%の目標に対し、25.5%と目標を達成した。

### ●システムのリニューアル

令和5年12月4日から新システムのさいたま市健康マイレージをスタートした。

12月6日時点で登録者数4,373人 (現行マイレージからの参加者: 3,375人、新マイレージからの新規参加者: 998人)